

自己評価結果報告書（令和元年度学校評価アンケート）

学校法人有明学園 有明高等学校
事務長 宮原和己

本校では、生徒の学校生活をより充実したものにするとともに、地域に愛される学校づくりを推進している。これらを実現するための取り組みの一環として、生徒、保護者、そして教員対象の学校評価アンケートを実施し、その結果をもとに教員による組織的な自己評価を行い、今後の改善点について考察した。本報告書では以下の項目に関して述べる。

- ・重点目標
- ・指標の設定
- ・アンケート項目と結果および考察
- ・教員による組織的な自己評価
- ・今後の改善点
- ・設置者の所見
- ・まとめ

○重点目標

各教員の取り組むべき方向性を明確にするとともに、日々の指導に役立てるようにするために、具体的かつ明確な重点目標を設定した。

- ・重点目標 1
基本的な生活習慣および生活態度の向上（あいさつ、掃除、言葉づかい、身だしなみなど）
- ・重点目標 2
学力向上に向けた授業の「質」の向上
- ・重点目標 3
生徒の自発的学習への意識の向上
- ・重点目標 4
健康で充実した学校生活のための環境づくり
- ・重点目標 5
生徒および保護者が納得できる進路保障の取り組み
- ・重点目標 6
教職員間および教職員と保護者間の連携

○指標の設定

重点目標の達成のための具体的な取組等を評価する際のバロメーターとして以下の指標を設定した。ただし、学校評価アンケートの結果に関する教員間の議論を教務部、生徒指導部、進路指導部において行ったため、それぞれの部ご

とに指標を示す。

- ・教務部に関して（重点目標 2、3、6）
 - ・授業時間の厳守。
 - ・授業における説明、板書、発問などの実施方法。
 - ・生徒の発達段階に即した指導。
 - ・図書館の計画的利用や読書活動の推進の取り組み。
 - ・教科指導に関する教職員間の情報交換。
- ・生徒指導部に関して（重点目標 1、4、6）
 - ・学校の教職員全体として生徒指導に取り組む体制の整備の状況。
 - ・教職員の問題行動等への対応（保護者への対応を含む）の状況。
 - ・学校行事や部活動を通して、自ら考え、自主的・自律的に行動できるとともに、自らの言動に責任を負うことが出来る指導。
 - ・教職員による生徒の交通安全への向上を図るための取り組み。
- ・進路指導部に関して（重点目標 5、6）
 - ・資格取得や検定試験へ組織的に取り組む体制の整備。
 - ・生徒の能力・適性等を発見するための工夫。
 - ・職場体験活動や就業体験が適切に実施されている。

○重点目標に関するアンケート項目と結果および考察

アンケートの対象は、生徒 627 名、保護者 627 名、教職員 68 名である。アンケートの回答数は、生徒 604 名、保護者 536 名、教職員 62 名であり、回収率は、生徒 96%、保護者 85%、教職員 91% であった。

生徒アンケート項目の回答選択肢において、「そう思う」「ややそう思う」を肯定的回答とし、肯定的回答が 75% を超えることを目標とした。なお、質問中の（あなた）は生徒に対する質問の場合を示す。また、グラフにおける凡例は表の左から順に、■ そう思う、□ ややそう思う、□ あまりそう思わない、■ そう思わない、を表し、表中の数値はそれぞれの割合をパーセント表示したものである。

重点目標 1（基本的な生活習慣および生活態度の向上（あいさつ、掃除、言葉づかい、身だしなみなど））に対して、生徒や保護者の評価は高くなっているが、それに比べると教職員の評価は低い結果となった。教職員の評価が目標に達するように取り組む必要がある。

Q. 生徒（あなた）は、あいさつをしっかりしていると思いますか。



0 25 50 75 100
[%]

Q. 生徒（あなた）は、掃除にしっかりと取り組んでいると思いますか。



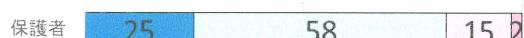
0 25 50 75 100
[%]

Q. 生徒（あなた）は、学校生活においてモラルやルールを守っていると思いますか。



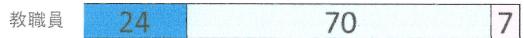
0 25 50 75 100
[%]

Q. 生徒（あなた）は、言葉づかいが適切であると思いますか。



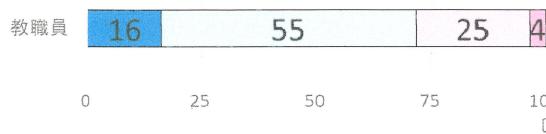
0 25 50 75 100
[%]

Q. 生徒（あなた）は、服装・頭髪をきちんとしているだと思いますか。



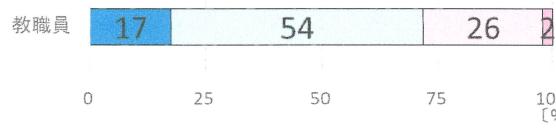
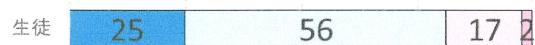
0 25 50 75 100
[%]

Q. 生徒（あなた）は、施設や設備を丁寧に使用していると思いますか。

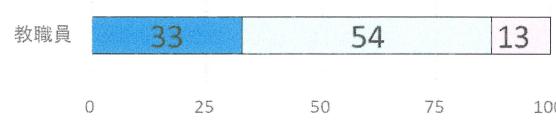


重点目標2（学力向上に向けた授業の「質」の向上）に対して、授業の進め方や教員の熱意や内容に関する評価は比較的高くなっていた。

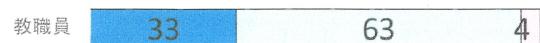
Q. 先生の授業の進め方には、工夫がみられると思いますか。



Q. 先生は、学力向上のために学習内容を熱心に教えていると思いますか。



Q. 授業内容は、生徒（あなた）の進学や就職を考えたうえで満足できるものですか。

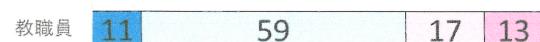


重点目標3（生徒の自発的学習への意識の向上）に対して、生徒の授業への積極性はあり、学習に集中できる環境であるものの、生徒と教職員の認識の差が大きいところもあり課題がある。また、家庭学習を定着させることも課題である。

Q. 生徒（あなた）は授業に積極的に取り組んでいると思いますか。



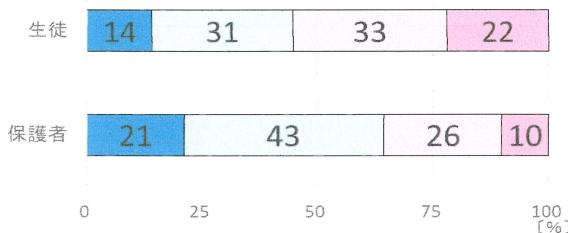
Q. 生徒（あなた）は、8時35分登校や授業開始の時間を守っていると思いますか。



Q. 学校は、生徒（あなた）にとって学習に集中できる環境であると思いますか。

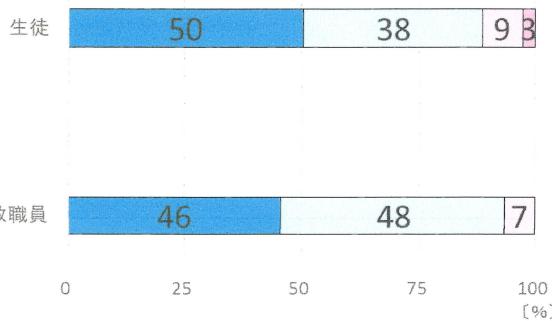


Q. 生徒（あなた）は、家庭学習をしていると思いますか。



重点目標4（健康で充実した学校生活のための環境づくり）に対して、令和元年度における学校行事は生徒が積極的に参加できており、学校生活の充実に大きく貢献していると考えられる。一方、部活動に関しては、肯定的回答が前年と比べると低くなってしまっており、部活動の活性化は今後取り組まなければならない課題と思われる。生徒の悩み等に対しての教職員の対応も高い評価を得ていた。しかしながら、「あまり思わない」や「そう思わない」の回答がゼロになるように教職員の意識を高める必要がある。

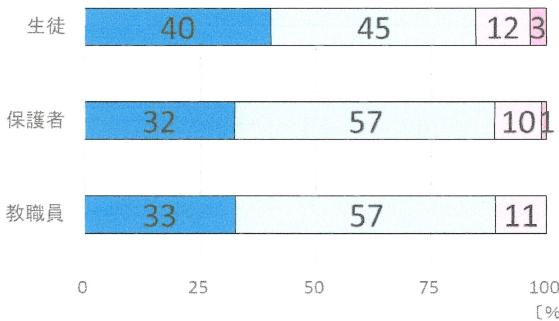
Q. 生徒（あなた）は、歓迎遠足や体育大会等の学校行事に積極的に取り組んでいると思いますか。



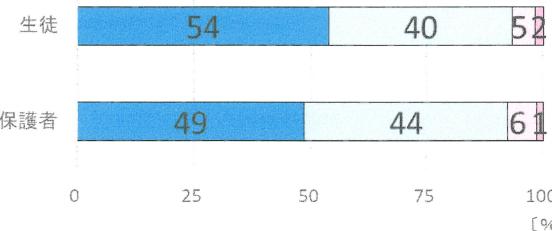
Q. 生徒（あなた）は、部活動に熱心に取り組んでいると思いますか。



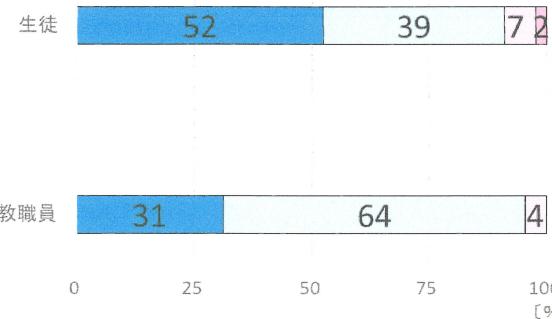
Q. 先生は、生徒（あなた）の悩みや相談に親身に応じていると思いますか。



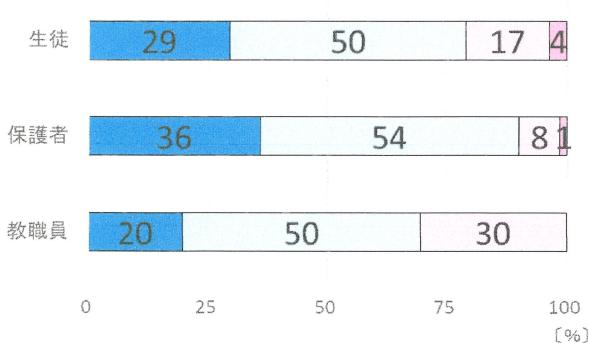
Q. 生徒（あなた）は、本校の生徒と良い交友関係を築いていると思いますか。



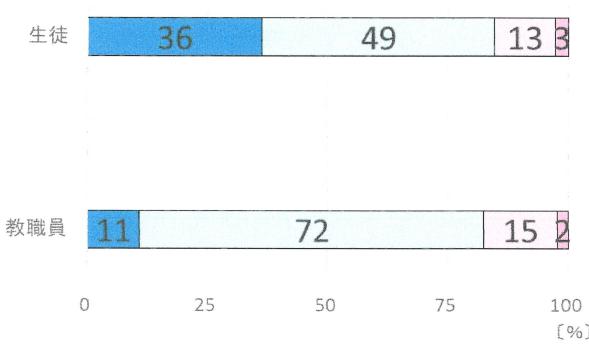
Q. 学校が行っている交通指導（自転車、バイク指導も含む）は、適切であると思いますか。



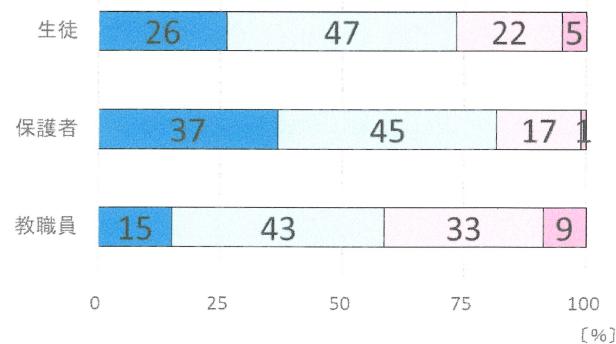
Q. 生徒（あなた）にとって、学校生活は全般的に満足であると思いますか。



Q. 生徒（あなた）は、有高生としての自覚をもって生活していると思いますか。

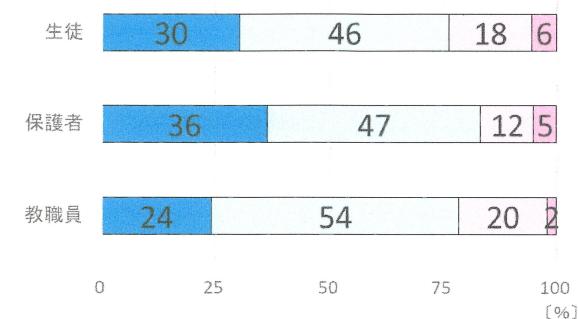


Q. 生徒（あなた）は、目標をもって日々の学校生活を過ごしていると思いますか。

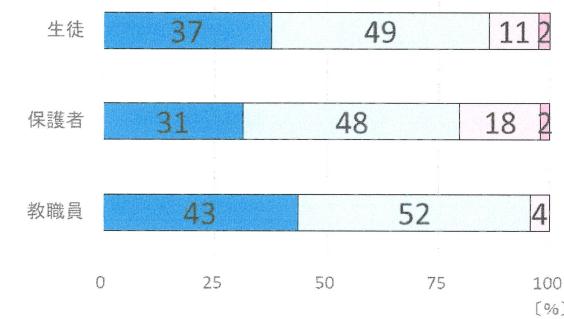


重点目標5（生徒および保護者が納得できる進路保障の取り組み）に対して、生徒一人ひとりへのきめ細かな対応は出来ているが、資格取得や検定試験へ取り組みが課題である。また、保護者の肯定的回答回数が低くなっていることから、これまで以上に進路指導計画等を保護者へ周知させる必要があると思われる。

Q. 生徒（あなた）は、進路実現に向けて、資格取得や検定試験に取り組んでいると思いますか。



Q. 学校は、生徒（あなた）へ進路についての十分な情報を知らせていると思いますか。



Q. 学校は、進路についての指導・面談を一人一人丁寧に行っていると思いますか。



重点目標6（教職員間および教職員と保護者間の連携）に対して、高い評価を得ている。今年度から、保護者への一斉メール（有明高校安心メール）を実施した効果もあると考えられる。一方、教職員間の連携に関しては低い評価になっており、改善の必要性がある。

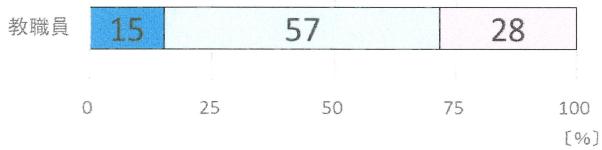
Q. 学校が保護者に出す文書・事務連絡等は適切であると思いますか。



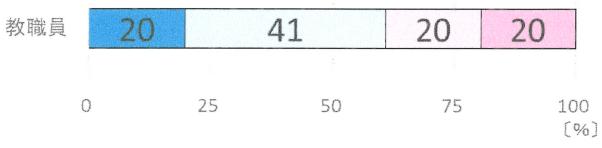
Q. 教職員の、保護者様への対応は適切であると思いますか。



Q. 授業の円滑な進行のために、教職員間の連携が図られていると思いますか。



Q. 生徒指導が円滑に進むために、教職員間の連携が図られていると思いますか。



○教員の組織的自己評価

アンケート結果をもとに、教務部、生徒指導部、進路指導部の教員による会議を行い、アンケート結果に対する課題や改善等について議論した（報告書（別紙1）参照）。

○来年度の改善点

以下に示す5つの改善点が実行できるように取り組む（報告書（別紙1）参照）。

- ① 授業の振り返りとして授業後の生徒へのアンケートを実施する。
- ② 生徒が図書館を今以上に活用できるよう図書館の情報を定期的に発信する。
- ③ 教員間の情報交換（教科、生徒指導、進路指導）ができる環境をつくる。
- ④ 学校ホームページを充実する。
- ⑤ ICT環境を充実する。

○設置者の所見

本学園理事長より、教職員全員が協力し改善点を実行することで、生徒の可能性を最大限伸ばせるように職務を遂行するようにとの所見を得た（設置者所見（別紙2参照））。

○まとめ

質問に対する回答選択肢において、「そう思う」「ややそう思う」を肯定的回答とした。集計の結果、生徒や保護者に関しては、ほとんどの質問に対して肯定的回答が75%を超える高い評価となった。

しかしながら、重点目標2、3の授業および学習面に関しては低い評価も見られる傾向となつた。また、教職員の肯定的回答が生徒のそれより低くなる傾向となつた。これらの結果は、初めてアンケートを実施した平成26年度から認められるものであり、これらの傾向をなくすことが今後の大変な課題である。

教務部、生徒指導部、進路指導部の会議を開き、評価向上のための意見等が多数出され、これらの意見とアンケート結果の課題から5つの改善点を提案し、設置者の了承を得た。

来年度の重点目標は重点目標6の「教職員間および教職員と保護者間の連携」を「教職員間および教職員と保護者間の連携・連動」に変更する。また、指標は変更することなく、同様の内容で結果の向上を目指すこととした。

報告書（令和元年度学校評価アンケート結果に対する教員の組織的自己評価と来年度の改善点）

事務長 宮原和己

学校評価アンケートの集計結果を全教員に配布し、その結果をもとに教務部、生徒指導部、進路指導部において会議を開き、アンケート結果の評価を行いました。評価の内容は、結果についての感想、今後の課題、改善に向けた来年度の課題、重点目標の変更、指標の変更についてです。各部の評価の結果を記すとともに、アンケート結果からの課題および各部の評価結果を踏まえた来年度の改善点を以下にまとめました。

各部の評価結果（会議の議事録（令和2年4月10日提出））

教務部

○結果について（感想等）

- ・生徒、先生共にまだまだ改善の余地があると思う。
- ・授業に「完璧」はないと思うので、知識と技術の向上に努めることはあたりまえのことである。
- ・朝読書の評価が低いので、担当の先生方に考えていただきたい。

○課題

- ・生徒の学習到達度等を理解する。→授業に活かす。生徒の「わかる」、「わかった」を実感させる。

○改善に向けた来年度の取り組みなど

- ・アンケートを生徒自身の授業の振り返りという形でできないかという案が出た。
- ・教科会議をもつことで、情報交換や内容を深められるのではないか。
- ・教材をしっかりと吟味して採用・活用する。
- ・ICTの活用方法を模索し、生徒の授業の理解度を更に上げたい。家庭学習の充実にもつながるのでは。

生徒指導部

○結果について（感想等）

- ・全体としては生徒の意識、そして現場の環境、教職員の取り組み方も低いと感じた。生徒指導においてはもっと親身になり生徒に関わらなければと思う。

○課題

- ・生徒が自ら学校生活、学習活動に取り組める環境をつくる事が必要を感じた。

○改善に向けた来年度の取り組みなど

- ・教師主導型から生徒主導型の教育へと変わる工夫をする。
- ・ホームページの充実をはかり、学校の様子を生徒の保護者にも知ってもらう。

進路指導部

○ 結果について（感想等）

- ・質問「学校は、生徒（あなた）へ進路についての十分な情報を知らせていると思いますか。」では満足度が高い学科は電気情報科、普通科特進コース、機械科の順であった。対して低いのは福祉科、看護科の順であったが、国試等を控えているので当初の目的に沿った相違であ

り、本校としては良しとする。

○ 課題

- ・進路のしおり等を製作しているが、担任による活用が少なく、生徒の認識も低い。喚起を促す必要あり。
- ・月毎に進路だよりを発行してみたいが、現在は時間の余裕が取れないので無理かなと考えている。

○ 改善に向けた来年度の取り組みなど

- ・質問にプラス「あなたは(希望の)進路実現に向けて情報収集、分析を行っていますか?」
- ・進路指導の取り組みを保護者に知らせる方法

○ 来年度の重点目標（変更等があれば記入して下さい）

- ・「学科、学年の教員同士の連動」を加えて欲しい。

来年度の改善点

生徒、教職員、保護者によるアンケート結果は、“そう思う”と“ややそう思う”と答えた肯定的な回答が75%を超えるものがほとんどでした。

しかしながら、重点目標2、3の授業および学習面に関しては低い評価も見られる傾向となりました。また、教員の肯定的回答が生徒のそれより低くなる傾向となりました。これらの結果は、初めてアンケートを実施した平成26年度から認められるものであり、これらの傾向をなくすことが今後の大いな課題です。

これらの課題と各部による評価を踏まえて、来年度の改善点として以下の項目の実施を考えています。

- ① 授業の振り返りとして授業後の生徒へのアンケートを実施する。
- ② 生徒が図書館を今以上に活用できるように図書館の情報を定期的に発信する。
- ③ 教員間の情報交換（教科、生徒指導、進路指導）ができる環境をつくる。
- ④ 学校ホームページを充実する。
- ⑤ ICT環境を充実する。

また、進路指導部より重点目標の追加として、「学科、学年の教員同士の連動」の提案がありました。これについては、重点目標6の「教職員間および教職員と保護者間の連携」を「教職員間および教職員と保護者間の連携・連動」と変更致します。

設置者所見

アンケートの結果は肯定的回答が多く見られ、教職員の日々の指導の成果が見られた。しかしながら、今年度は本校にとって重大な出来事もあり、教職員全員が気持ちを引き締めて、学習指導、生活指導、進路指導を行わなければならない。本学園は、地域の方々から信頼され、愛されて、今日の姿がある。このことを常に感謝し、社会に貢献できる人物を育成していかなければならない。

報告書の改善点に関しては、実行できるように教職員全員が協力して頂きたい。今後も、教職員の連携により、生徒の可能性を最大限伸ばせるように職務を遂行して頂きたい。

令和2年12月3日

学校法人 有明学園

理事長 片山 盛雄

